



作成日： 2025年3月28日

改定日： -

安全データシート(SDS)

【1】 化学品及び会社情報

製品名 Biotin-sRAGE, Human, Recombinant 50 µg

会社名 株式会社森永生科学研究所
 住所 横浜市鶴見区下末吉二丁目 1 番 1 号
 担当部門 品質保証部
 電話番号 045-586-2514
 FAX番号 045-586-2517
 整理番号(SDS No.) GHS-RG-01

【2】 危険有害性の要約

GHS分類 GHS分類に該当するデータは得られていない。
 GHSラベル要素 なし
 注意喚起語 なし

【3】 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	化審法	安衛法	CAS RN®
塩化ナトリウム	0.90%	1-236	7-(3)-1053	7647-14-5
リン酸水素二ナトリウム	0.04%	1-497		7558-79-4
リン酸二水素カリウム	0.01%	1-452		7778-77-0

【4】 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 : 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
 皮膚に付着した場合 : 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
 : 皮膚の刺激が持続する場合は、医師の診察・手当てを受けること。
 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 : 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
 : 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

【5】 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、噴霧水、泡消火剤、乾燥砂、炭酸ガス
 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
 特有の消火方法 : 消火活動は風上から行う。
 : 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
 : 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 : 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
 : 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
 消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器（SCBA）眼や皮膚を保護する耐熱性の完全防護服を着用する。

【6】 漏出時の措置

人体に対する注意事項・
 保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
 : 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。
 : 風上から作業して、風下の人を避難させる。

環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収・中和	: 漏洩した液は、紙、布などで拭き取る

【7】 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 皮膚に付けたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	: 皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 個人用保護具を着用すること。 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
保管	
適切な保管条件	: 容器は遮光し、冷暗所に密閉して保管する。
安全な包装容器材料	: 供給者が提供した容器と同等の材質

【8】 ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: データなし
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
日本産業衛生学会（2009年版）	: データなし
ACGIH（2009年版）	: データなし
保護具	
呼吸器の保護具	: 必要に応じて、適切な保護マスクを着用する。
手の保護具	: 必要に応じて、ゴム製などの不浸透性の手袋を着用する。
眼の保護具	: 必要に応じて保護眼鏡または安全ゴーグルを使用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じて、不浸透性の保護具を着用すること。
衛生対策	: 取扱い後はよく手を洗うこと。

【9】 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状	: 固体
色	: 白色
臭い	: 無臭
pH	: 溶液時:pH 7.4
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
燃焼性（固体、ガス）	: データなし
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度（酢酸ブチル = 1）	: データなし
比重（密度）	: データなし
溶解度	: 水：自由に混合
オクタノール・水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
粉じん爆発下限濃度	: データなし
最小発火エネルギー	: データなし
体積抵抗率(導電率)	: データなし

【10】 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 光により変質するおそれがある。
危険有害反応可能性	: 通常の処理ではなし。
避けるべき条件	: 高温と直射日光
混触危険物質	: 強酸化剤

危険有害な分解生成物	強酸 強アルカリ : データなし
------------	------------------------

【11】有害性情報

急性毒性	
経口	: 区分に該当しない
経皮	: 区分に該当しない
吸入（蒸気）	: 分類できない
吸入（ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: 区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 区分に該当しない
誤えん有害性	: 分類できない

【12】環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	: 分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 分類できない

【13】廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、廃掃法及び関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 : 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共 団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 : 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知 の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従っ て適切な処分を行う。 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

【14】輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	: 該当しない
航空規制情報	: 該当しない
国内規制	
陸上規制情報	: 該当しない
海上規制情報	: 該当しない
航空規制情報	: 該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	: 運搬に際しては、直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転 倒、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

【15】適用法令

労働安全衛生法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法 （PRTR法）	: 非該当
消防法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当
港則法	: 非該当

【16】その他の情報**参考文献**

：有機化合物辞典（1985）
：科学大辞典（1964）
：化学物質総合情報提供システム(NITE)
：化審法データベース
：化学物質等法規制便覧改訂第4版（2004）

本データシートは、現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成していますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いをする場合にはその用途・用法に応じて安全対策を実施してください。

記載されている値は安全な取扱いのための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。